

5 4. <sup>こう やさんけいみち</sup> 高野参詣道—<sup>ちょういしみち</sup> 町石道

<sup>くろこみち</sup>  
—黒河道

<sup>きょうおおさかみち</sup>  
—京大坂道

<sup>まきおみち</sup>  
—槇尾道

<sup>みたにざか</sup>  
—三谷坂

<sup>さいごくかいどう</sup>  
—西国街道

<sup>おおみねみち</sup>  
—大峰道

<sup>よにんみち</sup>  
—女人道

<sup>こへち</sup>  
—小辺路

<sup>あいのうらみち</sup>  
—相ノ浦道

<sup>ありだりゅうじんみち</sup>  
—有田龍神道

選定箇所：

町石道—紀ノ川船着場・慈尊院～丹生官省符神社～二ツ鳥居～高野奥の院

(和歌山県九度山町・かつらぎ町・高野町)、八町坂(かつらぎ町)

黒河道—賢堂、清水(橋本市)、青淵、わらん谷(九度山町・橋本市)、太閤坂、戦場山、北又(九度山町)～子継峠(高野町)、北又～黒河峠(九度山町)～金剛峯寺奥院(高野町)

京大坂道—西郷、不動坂(高野町)、槇尾道—椎出(九度山町)～細川(高野町)

三谷坂—頬切地藏～笠松峠、笠松峠～上天野、笠松峠～六本杉、六本杉～上天野(かつらぎ町)

西国街道(麻生津道)—日高峠(かつらぎ町・紀の川市)、志賀(かつらぎ

町)、梨子ノ木峠 (かつらぎ町)、聖峠 (かつらぎ町・高野町)

大峰道—桜峠 (高野町)

女人道—摩尼山周辺～揚柳山～子継峠～転軸山周辺、黒河口～不動口～大門口、龍神口～相ノ浦口～大滝口、大峰口～円通寺 (高野町)

小辺路—水ヶ峰、大滝～薄峠 (高野町)

相ノ浦道—相ノ浦～笠松峠～相ノ浦口 (高野町)

有田龍神道—旧辻の茶屋跡～新辻の茶屋跡 (高野町・かつらぎ町)

概要：弘仁7年(816)に弘法大師(空海)が真言密教の根本道場として高野山を開いて以降、参詣者の出発地点に応じて「高野七口」と呼ばれる複数の参詣道が形成された。町石道、三谷坂、京大坂道不動坂、黒河道、女人道は一部が史跡「高野参詣道」に指定され、世界文化遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」の構成資産である。

